

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公開番号】特開2015-202394(P2015-202394A)

【公開日】平成27年11月16日(2015.11.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-071

【出願番号】特願2014-135153(P2014-135153)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/494 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 K

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月6日(2017.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液透過性のトップシートと、

液不透過性のバックシートと、

前記トップシート及び前記バックシートの間に配置された液吸収性の吸収体と、

前記トップシートから起立可能な防漏部であって、前記トップシートに固定された固定端部及び前記トップシートから離間可能な自由端部を有する前記防漏部と、

前記防漏部の自由端部に伸張状態で取り付けられた弾性部材であって、伸張方向の両端部が前記トップシートに固定された前記弾性部材と、

前記トップシート及び前記吸収体を接合する接着剤と

を備えた吸収性物品であって、

前記吸収性物品を伸展させた状態において、

前記吸収性物品は、互いに直交する長さ方向、幅方向及び厚さ方向を有し、

前記トップシートは、前記厚さ方向において前記防漏部及び前記吸収体の両方と重なる重なり部分を有し、

前記重なり部分の吸収体側表面は、前記接着剤によって前記吸収体と接合されていない非接合領域を有し、

前記吸収体は、前記長さ方向の中央部分がくびれた瓢箪状の形状を有し、

さらに、前記防漏部の固定端部及び自由端部は、前記長さ方向に延在しており、

前記吸収性物品は、前記防漏部の固定端部及び自由端部の間に於いて前記長さ方向に延在する折り曲げ線で前記トップシート側に折り曲げられていて、

前記折り曲げ線は、前記吸収性物品を伸展させた状態において、前記吸収体のくびれた部分における前記幅方向の端部よりも前記幅方向の内側に位置している、前記吸収性物品。

【請求項2】

前記非接合領域は、前記折り曲げ線をまたぐように形成されている、請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項3】

前記非接合領域は、前記重なり部分における前記長さ方向の一方側の端部から他方側の

端部まで前記長さ方向に延在している、請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項4】

前記非接合領域の幅は、前記防漏部の幅の25～100%である、請求項2又は3に記載の吸収性物品。

【請求項5】

前記防漏部は、前記固定端部から前記自由端部まで前記幅方向に延在する第1シート部分と、前記自由端部で前記トップシート側に折り返されて前記第1シート部分と接合された第2シート部分とを有し、

前記折り曲げ線は、前記第1シート部分のうち、前記第2シート部分と接合されていない部分に位置している、請求項1～4のいずれか1項に吸収性物品。

【請求項6】

前記第2シート部分における前記固定端部側の端部は、前記第1シート部分と接合されていない自由端部である、請求項5に記載の吸収性物品。